

令和5年度 神戸大学大学院海事科学研究科国際交流基金援助金申請書
(3 国際学术交流のための教職員海外派遣事業)

2024年 3月 29日

神戸大学大学院海事科学研究科長 殿

申請者氏名 林美鶴
所属・職名 海洋基礎科学講座・准教授

国際学术交流のための教職員海外派遣事業への援助をいただき有り難うございました。

下記の通りご報告申し上げます。

記

渡航者	氏名(所属・職名) 林美鶴(海洋基礎科学領域・准教授)		
3. 開催地	都市名: カーン		国名: フランス
渡航目的	国際学術講演会等	1. 学会名	COAST CAEN 2023
		2. 開催日時	10月24~27日(公式行事10月22~28日)
	講演者	講演題目	Distribution of CO ₂ and N ₂ O concentrations in surface seawater measured in the Seto Inland Sea and Shikoku southern offing
		講演者	林美鶴
4. 規模	参加300名	8セッション、120講演、30ポスター、	
6. 関わり	講演者		
渡航期間	2023年10月20日 ~ 2023年10月28日 (9日間)		
5. 発表要旨	<p>深江丸の瀬戸内海航海において、1990~2004年に大気・海水中CO₂、N₂O濃度を測定した。両者を同時に測定した2008年3月、9月、2009年3月、9月、2010年3月の5航海の結果を比較した。船底(水深3m)から取水し、CO₂濃度は15分ごと、N₂O濃度は1時間ごとに、バブリング法により測定した。3月のCO₂濃度は3年間ほぼ同じであった。9月のCO₂濃度は2年の濃度レベルが異なるが、空間変動の傾向は一致していた。3月のN₂O濃度は、海水密度が高い年ほど高くなる傾向があったが、9月には有意な傾向は見られなかった。CO₂およびN₂O濃度と塩分、水温、溶存酸素濃度との相関は、CO₂については各年で異なる傾向を示し、CO₂濃度に生化学的な影響が大きいことが示唆された。N₂Oの相関は各年で類似の分布形状を示し、年によって全体がシフトした。このことは、N₂O濃度に対する物理的影響が大きいことを示唆している。</p>		

発表論文の写し: Springer Nature から書籍として出版する講演論文集の編纂中のため、プレゼンテーションファイルを添付する。